

# エボラ出血熱の感染経路・感染リスク

資料5-2

## 基本情報

**病原体** ・フィロウイルス科エボラウイルス属のウイルス

**潜伏期間** ・2-21日

**症状** ・初期症状は発熱、倦怠感、筋肉痛、頭痛、咽頭痛など  
・症状出現から約5日で嘔吐、下痢、腹痛などの消化器症状が出現する  
・重症例では腎不全、肝不全、出血症状などがみられる

**治療** ・輸液、輸血、透析などの支持療法



出典:国立感染症研究所ホームページ

## 感染源・感染経路

**感染源** ・感染した動物の死体や生肉との接触、またその生肉の摂取により感染する  
・感染した人の血液、便、尿、唾液、精液などの体液に直接接触した際に粘膜等から感染する  
・空気感染はしない  
・患者の発症前に接触した者が感染するリスクは低い

## 曝露様式と感染予防策の有無によるリスクレベルの区分

曝露様式	感染予防策*あり	感染予防策*なし
針刺し・粘膜・傷口への曝露		高リスク
患者や遺体の血液、唾液、便、精液、涙、母乳等に接触	低リスク	高リスク
患者や遺体の検体処理	低リスク	高リスク
患者や遺体の概ね1メートル以内の距離で診察、処置、搬送等	低リスク	高リスク
上記に該当しない、患者や遺体に関わった医療従事者や搬送従事者(救急用自動車等)、患者や遺体の同居の家族など	低リスク	低リスク

※感染予防策:  
適切な個人防護服の使用

「ウイルス出血熱に対する  
積極的疫学調査実施要領～  
地方実地対向け」より改変

# エボラ出血熱の感染経路・感染リスク

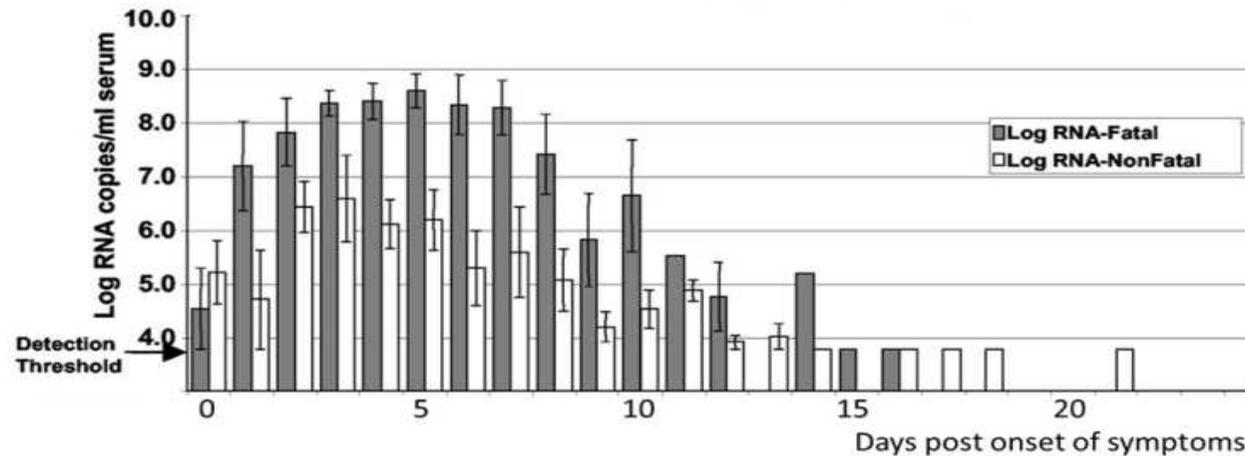
発症前はウイルス量は低いため  
他者に感染させるリスクは低い

発症するとウイルス量は  
増加する



Figure 1. Ebola virus RNA copy levels in sera over time from 45 Ebola Virus Disease (EVD) patients (27 fatal, 18 non-fatal)<sup>14</sup>

Figure 1.



Each bar represents the arithmetic mean value, and the error bars represent 1 standard error of the mean for each time point.

Figure 3A from Towner JS et al. J. Virol. 2004. 78(8):4330. DOI:10.1128/JVI.78.8.4330-4341.2004.

出典：米国CDCホームページ

